



組立て

- ・ 野書きのある側板を置き、その上に板を載せていきます
- ・ 音道の構成材Aの部分（板材にAの印はありません）は178×35mmの板を2枚を繋いで用います
- ・ 最後に野書きのない側板を接着しますが、その前に内部配線や吸音材の処理は済ませておきます